

## 生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2018顛末記

(生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2018 実行委員長) 小西 正朗

本年度の生物工学若手研究者の集い(若手会)夏のセミナー2018は6月30日~7月1日に、北海道北見市・北見工業大学ならびに北見市自然休暇村センターにて開催されました。初の北海道での開催となりました。昨年度までは宿泊場所での合宿形式でのセミナーでしたが、本年度は宿泊場所でのセミナー・ポスター発表会会場の確保ができず、セミナー会場と宿泊場所を別々にしての開催でした。今回も参加者の皆さんの交流ができるよう、第一線で活躍する先生による特別講演、ポスター発表、交流会を三本柱として企画しました。恒例のポスターセッションでは、より多様な学生をエンカレッジできるよう、これまでの優秀ポスター賞に加えて、新たに部門賞4賞を設定しました。専門分野の方が専門分野の視点から優れていると評価された発表に対し「専門分野賞」、専門分野外の方がわかりやすく優れていると評価された発表に「ユニバーサル賞」、ポスターのデザインが優れていると評価された発表に「Good Design賞」、M1ならびにB4の発表者の中で優れていると評価された発表に対し「Beginners'賞」を授与することにしました。今回は日本の端っこにあたる道東北見での開催になり、参加者数が確保できるか心配でしたが、北海道を中心に、首都圏、関西圏や遠くは九州からも御参加いただきました。最終的な参加者は81名(一般37名、学生44名)、ポスター発表件数は45件でした。

今年度は天候が不安定で、雨を心配しましたが、初日は晴天に恵まれました。北見工業大学講堂前で受付をして、会長の今中洋行先生(岡山大学)の挨拶に続き、特別講演を聴講しました。特別講演では、北海道で活躍されている、生物工学に関わるさまざまな分野から産学官にてご活躍の5名の先生に講師をお願いしました。前半の3演題では、大津直史先生(北見工業大学)による『生物学的な方法による生体材料評価の現状』、釜崎とも子先生(北海道大学遺伝子病制御研究所)による『電子顕微鏡で解き明かす生物の仕組み』、加藤創一郎先生(産業技術総合研究所)による『エネルギーの観点から見る微生物の多様な生存戦略』と題したご講演を頂き、活発なディスカッションが繰り広げられました。研究成果に加え、その過程についての苦労話、これまでの研究者人生から得た教訓を含めて講演いただき、大変貴重なお話を伺うことができました。

次に、会場をコミュニケーションアトリウムに移動し、ポスター発表を行いました。活発な議論が行われ、45分ずつの発表時間を忘れてしまいそうになりました。ポスター賞への投票は参加者全員で行いました。会場では、バイオインフォマティクス相談部会の相談ブースも設置しました。

次に、講堂に戻り、後半の2名の先生の特別講演を聴講しました。森川正章先生(北海道大学)には『私の来た道~油田細菌から超好熱菌そして植物共生細菌まで』、森本一先生(北海道システムサイエンス)には『次世代シーケンサーの現状』と題したご講演をしていただきました。森川先生には、ご自身のキャリアや研究の変遷を交えて、キャリアに対する考え方や発想の転換の大切さについてご講演いただきました。森本先生には、民間企業研究者の立場から、受託分析事業内容や最新の次世代シーケンサーについて、ご講演いただきました。

次に、バスで自然休暇村センターに移動しました。チェックインした後、施設内のロッジにて夕食のバーベキューで北見名物の焼肉を楽しみました。乾杯の挨拶では、学会長の木野邦器先生にご挨拶いただきました。地元のクラフトビール会社オホーツクビアファクトリー様から格安で提供いただいた樽ビールは参加者から好評でした。終盤に行ったビンゴ大会では、ピョンチャンオリンピックで話題となった「そだねーTシャツ」を景品としたこともあり、一般参加者と学生参加者が世代の壁を越えて一緒になって楽しむことができました。夜の討論会では、合同酒精株式会社様、アサヒビール株式会社様から無償提供いただいた飲料に加えて、北海道の日本酒をお供に、活発な議論が夕方まで続けました。

2日目は、バイオインフォマティクス相談部会との共催イベントで、堀之内貴明先生(理化学研究所)と兒島孝明先生(名古屋大学)が講師を務められて、最新の次世代シーケンサーの紹介やLocal BLASTなどデータ解析の実際について、PCでの実演を踏まえた勉強会を開催しました。

その後、ポスター賞の表彰式を行いました。最優秀ポスター賞は兼吉航平さん(大阪大学)、優秀ポスター賞は元根啓佑さん(京都大学)、渡辺一樹さん(北見工業大学)、岩館秀樹さん(千葉大学)、竹内健人さん(北見工業大学)、専門分野賞は、河合美桜さん(関西大学)、竹

田雄大さん(北海道大学), 岡大椰(名古屋大学), ユニバーサル賞は森本一輝さん(北見工業大学), 宮永未森さん(北海道大学), Good Design賞は今井祐太さん(名古屋大学), 佐伯琴音さん(千葉大学), Beginners'賞は岩田茉奈さん(北海道大学), 立花成我さん(北見工業大学)が受賞しました。受賞者の皆様, おめでとうございます。続いて, 生物工学会本大会で行われるイブニングセッションのお知らせ, そして青木航先生(京都大学)から来年の夏のセミナーについてアナウンスをしていただきました。

最後に, 初代若手会会長高木昌宏先生と実行委員長小西より締め括りの挨拶とお礼を述べ, 参加者全員で集合写真を撮影して無事にセミナーが終了しました。

末筆となりますが, 本セミナーをご支援いただきました日本生物工学会(本部および北日本支部), 化学工学会北海道支部, 北見工業大学, 北見市, ご協賛・ご寄附を頂きました多数の企業様に深く御礼申し上げます。ま

た, ご多忙の中, 講演をお引き受けくださいました講師の先生方, 会場のお世話をしてくださいました自然休暇村センターの皆様, 本セミナー開催の機会をくださり, サポートくださいました若手会役員の先生方に心より感謝申し上げます。そして, 全国より北海道北見市にお集まりいただきました参加者の皆様, 誠にありがとうございました。本セミナーをきっかけに, 皆様の交流の輪がさらに広がり, 来年も夏のセミナーにてお会いできることを祈念しております。

夏のセミナーの様子は, 若手会ホームページ<<http://www.sbj.or.jp/division/young/>>でも公開しておりますので, 是非ご覧ください。

<実行委員>

邱 泰瑛(北見工大), 小西正朗(北見工大), 佐藤康治(北大・工), 中島一紀(北大・工), 東 恒仁(北大・医), 堀 千明(北大・工)



講演会での質疑の様子



ポスター会場での議論の様子



ポスター賞受賞者の集合写真